

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(平成22年12月分)

ご協力ありがとうございました。平成22年12月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 166社 回答 152社 回答率 91.6%

調査項目	前 月 比					計	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況		10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	
売上数量	12社 7.9% (14.7)	22社 14.5% (21.8)	58社 38.2% (41.7)	39社 25.7% (14.1)	21社 13.8% (7.7)	152社	33社 22.4% (25.8)	31社 21.1% (18.5)	53社 36.1% (30.5)	17社 11.6% (13.2)	13社 8.8% (11.9)	147社
売上高	10社 6.6% (15.4)	22社 14.5% (22.4)	58社 38.2% (41.0)	41社 27.0% (14.1)	21社 13.8% (7.1)	152社	35社 23.6% (26.5)	32社 21.6% (17.2)	52社 35.1% (28.5)	14社 9.5% (15.2)	15社 10.1% (12.6)	148社
在庫数量	5社 3.4% (1.3)	19社 12.9% (12.7)	81社 55.1% (50.7)	32社 21.8% (28.0)	10社 6.8% (7.3)	147社	10社 7.0% (9.0)	20社 14.1% (12.5)	64社 45.1% (38.2)	27社 19.0% (22.9)	21社 14.8% (17.4)	142社
販売単価	2社 1.3% (0.0)	14社 9.4% (4.6)	114社 76.5% (66.4)	17社 11.4% (26.3)	2社 1.3% (2.6)	149社	9社 6.3% (4.1)	38社 26.4% (30.8)	69社 47.9% (41.1)	24社 16.7% (18.5)	4社 2.8% (5.5)	144社
収益状況 (粗利)	4社 2.6% (7.1)	19社 12.5% (15.5)	79社 52.0% (51.0)	36社 23.7% (20.6)	14社 9.2% (5.8)	152社	21社 14.2% (16.8)	34社 23.0% (18.8)	60社 40.5% (34.9)	19社 12.8% (18.1)	14社 9.5% (11.4)	148社
稼働率 (生産・加工設備)	3社 2.5% (4.9)	9社 7.6% (13.8)	68社 57.6% (52.8)	29社 24.6% (20.3)	9社 7.6% (8.1)	118社	11社 9.5% (11.9)	25社 21.6% (25.4)	50社 43.1% (33.9)	19社 16.4% (15.3)	11社 9.5% (13.6)	116社
入出庫の トラック台数	2社 1.4% (3.4)	12社 8.3% (14.9)	89社 61.8% (57.4)	34社 23.6% (18.2)	7社 4.9% (6.1)	144社	11社 8.0% (9.3)	38社 27.5% (23.6)	63社 45.7% (40.7)	16社 11.6% (15.7)	10社 7.2% (10.7)	138社
	現在の景況感					計	3ヶ月後の景況予測					計
	0社 0.0% (0.7)	7社 5.0% (5.8)	64社 45.4% (38.1)	30社 21.3% (21.6)	40社 28.4% (33.8)		141社	0社 0.0% (0.7)	16社 11.6% (7.5)	82社 59.4% (56.0)	30社 21.7% (26.1)	
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
 特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査(12月) 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適切な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 安値の売込みがなくなり、相場反転に期待。店売、諸ユーザーの需要はまだ少なく、静かな年明け。
- ② 10～12月は多少ではあるが、荷動きがあった。(遅れていた物件や需要家が機械を動かすために仕事を取りにしているなど) 今後、供給サイドは上げ基調になっていくが、ユーザーは逆に下げ基調であるため、交渉はかなり難航しそうだ。
- ③ 前月比では、年始の影響もあり、受注は減少したが、前年比では改善され緩やかながら最悪期は脱しつつあり、小幅の振れを繰り返しながらの状況が続くものと判断している。なお、材料は値上げの動きがあるが、末端市場の実態を考慮した生産および価格政策を望むとともに、海外シフト加速を阻止する方策を切望する。
- ④ 年末年始にかけて内外メーカーの値上げアナウンスがあり、市況は下げ止まり、安値玉も消えた。少し変化の兆しが感じられる。在庫も減少に転じ過剰感はない。今後の荷動きの展開に期待したい。メーカーには供給過剰にならないよう、慎重な生産をお願いしたい。
- ⑤ 実質的な営業日は17から18日となり、売上も前月比、前年比とも大幅減となった。ただ、東鉄の値上げ発表もあり、多少動意が拮がった感がある。都市近郊の戸建着工やリフォーム(エコポイント関連)も、その周辺工事を含めて増えてきており、非住宅部門は底這いながら、昨年とは若干ながら潮目の変化も見られる。モラトリアム法も延長されるが、与信面に注意しながら拡販の年としたい。
- ⑥ 酸洗鋼板に関しては大きな変化はなく、引き続き停滞ムードが漂っている。
- ⑦ 東鉄の値上げの影響からか、薄板、中板に在庫薄感が出ている。売り止めで様子見か。

中板

- ① 12月の販売数量は前月比減少するも、荷動きは若干上向いており、在庫が少ないため、在庫は予想以上に減少している。よって、歯抜けサイズが多々見受けられ、得意先への対応ができかねる場面もある状況。スクラップ価格の急上昇により、東京製鐵の大幅値上げが発表され、安値は聞かれなくなったが、採算確保はまだ難しく、市況値上げに注力してゆく。先行きの需要動向は若干上向いてはいるが不安要素は拭えず、今ある在庫を大切に販売してゆく。来年からの採算確保に向けて段階を踏み、値上げに注力してゆく。
- ② 在庫がばらつき、歯抜けもある。メーカー値上げ発表後、市中で値上げ浸透。優勝劣敗で企業間格差がより鮮明になってくる。

厚板

- ① メーカーの値上げに伴い市況は下げ止まり、切板も安値は聞かれなくなった。建築物件は、変更等で明細が遅れ気味になっている。

— 舟安开形鋼

- ① 10月からの荷動き好転は、今月も継続した。今月も29日までの納品があり、昨年末とは明らかに違う。新年も5日から納品が比較的ある。この状況は3月までは継続するだろう。ここに来てのメーカーの値上げ表明も一因であろう。

H形鋼

- ① メーカーの1月契約値上げ発表後、市場も反応し、市況反転の動きが出てきた。年明け後も上昇ムードは変わっていない。在庫に歯抜けも多く、手持ち在庫を大事に販売していこうと考えている。
- ② メーカーネットの上昇や在庫の減少等で市況は上昇している。とくにH形鋼については在庫が非常に少なく、大事に売ろうという気分になってきている。去年のパターンと似てきたが、市況の下げは必ず来ることを自覚する必要がある。そのときのためにメーカー、流通ともに慎重な対応を今から行なうことが重要である。

異形棒鋼

- ① メーカー主導で、この2ヶ月上がってきている。市中も徐々に切り上がってきている。先行きはスクラップの動向次第。

平鋼

- ① メーカーは年末より値上げのアナウンスをしている。先高と見て若干の仮需は出ている。このままスクラップが高止まりした場合、もう一段の価格転嫁も必要と見ている。

鋼管

- ① 荷動きに変化なし。低レベル横這い。

構造用鋼

- ① 特定ユーザー向け以外の一般的市場では、依然として動きが鈍く、量的、価格的にも弱含みで推移している。
- ② 店売、紐付ともに、一時期、減速懸念(不透明感)が強まっていたが、自動車、工作機械等も堅調を維持しており、荷動きは変化なく推移している。市況についても、横這いで推移している。

その他

<曲げ加工>

- ① 前月よりやや増加の状況だが、いま一步。細かいものも多く、重量物および量産的なものが少ない。今後については、横這い状況もしくは多少後半に良くなる。

<スクラップ>

- ① 12月中旬、短期間に前月比10%の値上がりあり。その後、東京製鐵が製品値上げを発表。スクラップ発生はやや増加。年末らしい光景も見られた。

<金属表面処理加工>

- ① 12月は紐付、物件物とも計画通り。12月中旬以降、スポットの緊急手配等、短納期発注があり、前月と同水準の加工量となる。先納期分を含め、プラント物(国内外)でまとまった物量の引合いが多くなり、受注可否は不明なれど期待したい。1月も確定している紐付、物件物を中心に高操業で推移しそうである。